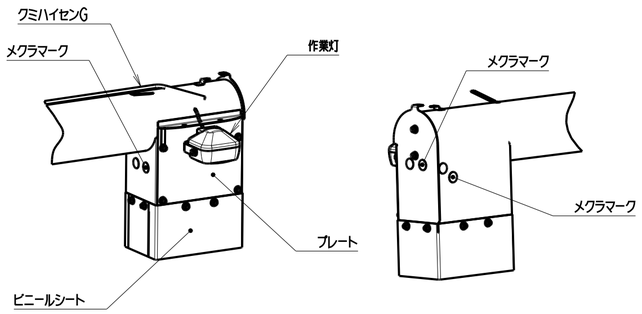
オーガフラップキット組付け要領図

1. 各部の取り外し

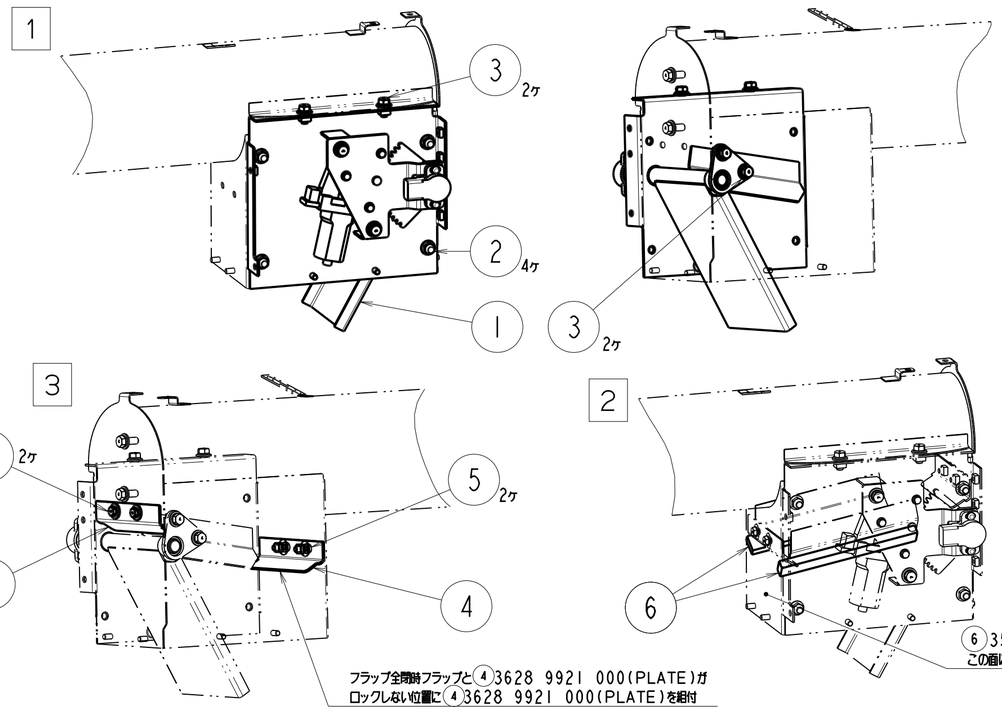
1 作業灯を外します。（M8ボルト：1ヶ）
2 プレートを外します。（M8ナット：4ヶ）
3 ビニールシートを外します。（M6ナット：8ヶ）
4 メクラマークを外します。（6ヶ）
5 クミハイセンGを外します。



2. オーガフラップの取付

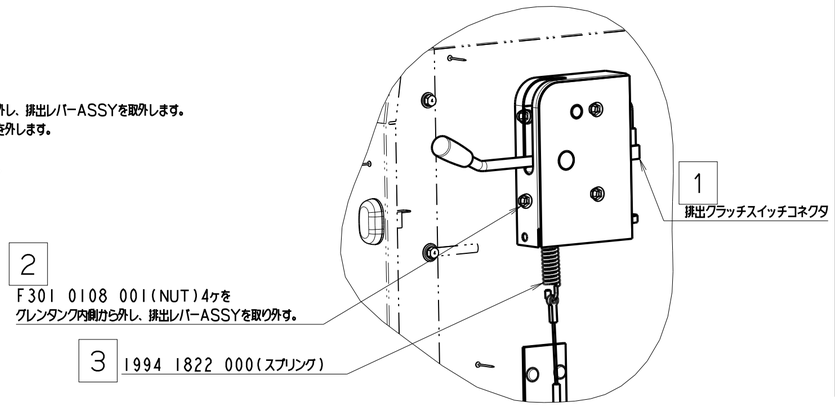
1 3628 9910 000(FLAP ASSY)を組付けます。
2 3544 3369 000(シール)を左右の流し板へ貼り付けます。
その際、オーガ排出口の後面に圧着して貼り付けます。
3 3628 9921 000(PLATE)を組付けます。（仮付け）
（最後リモコン組付け後、フラップを全開位置にし、フラップがロックしない位置で本組付けのこと）

番号	部品名称	部品番号	キット部品個数	備考
①	FLAP ASSY	3628 9910 000	1	
②	NUT	F301 0108 001	4	
③	BOLT	H154 0108 016	4	
④	PLATE	3628 9921 000	2	
⑤	BOLT	H194 0106 016	4	
⑥	シール	3544 3369 000	2	



3. オーガ排出手動クラッチの取外し

1 排出クラッチスイッチのコネクタを外します。
2 グレンタンク内側からF301 0108 001(NUT)を4ヶ外し、排出レバーASSYを取外します。
3 排出レバーASSYから1994 1822 000(スプリング)を外します。
スプリングは電動クラッチ装着時、再び使用します。
スプリングから下方の部品はそのまま使用するので廃却等しないこと。

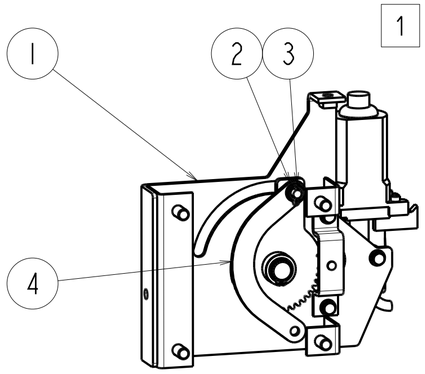


3. オーガ排出電動クラッチの取付

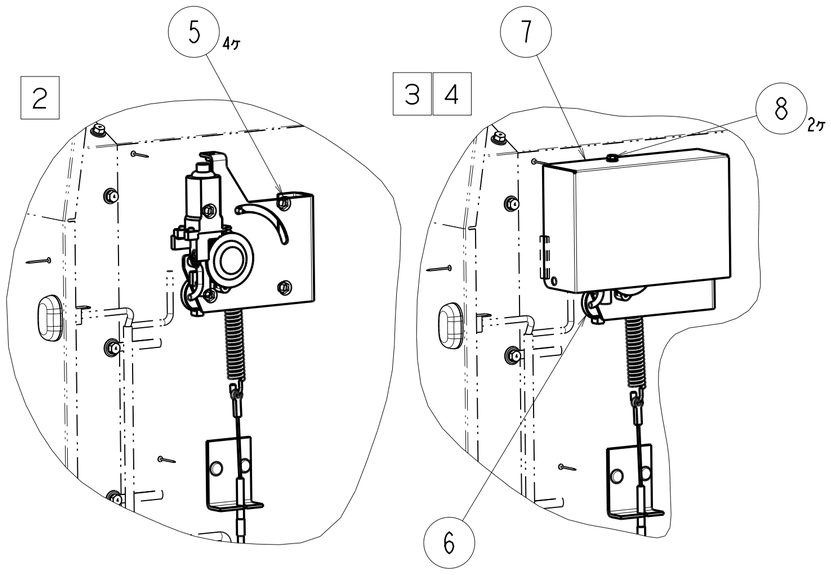
番号	部品名称	部品番号	キット部品個数	備考
①	ソウサバン アッシ	3606 9805 000	1	
②	WASHER	0350 0130 613	1	
③	PIN SPLIT	0520 0125 016	1	

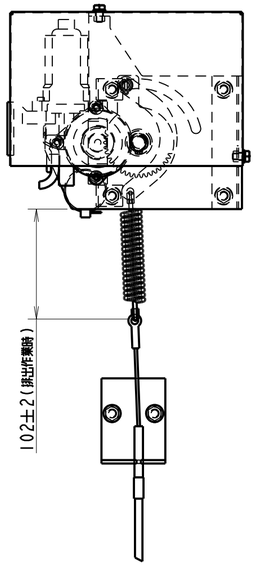
番号	部品名称	部品番号	キット部品個数	備考
④	ジョイント	2714 4721 000	1	取外した部品使用

番号	部品名称	部品番号	キット部品個数	備考
⑤	NUT	F301 0108 001	4	
⑥	BAND WIRE	0051 1032 070	1	
⑦	COVER ASSY	3628 9908 000	1	
⑧	BOLT	H144 0106 012	2	



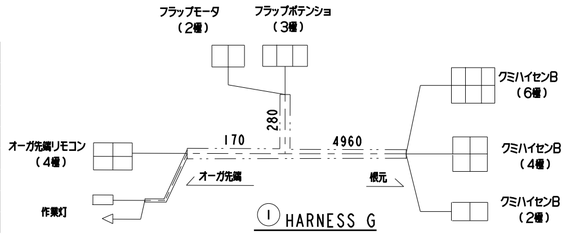
1 左図の様に排出電動クラッチをASSY組立ます。
（1）①ソウサバンアッシに④ジョイントを組付けます
2 再びグレンタンク内側から⑤F301 0108 001(NUT)4ヶにて
1で組んだ排出電動クラッチを組付けます。
（1）組込んだらワイヤ、スプリングを組付けます。
（最後リモコン組付け後、排出クラッチONでスプリング長102±2にセットします）
3 ⑦COVER ASSYを組付けます。
4 図示位置へ⑥BIND WIREを取付けます。



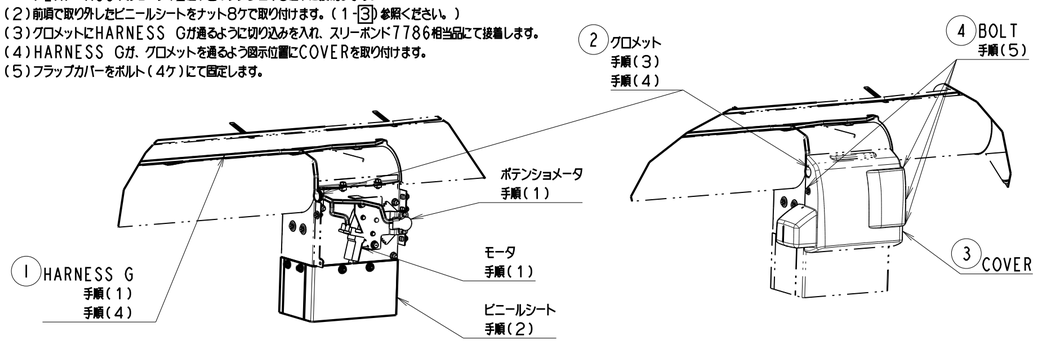


オーガフラップ組付け要領図

番号	部品名称	部品番号	キット部品個数	備考
①	HARNESS G	3606 9391 000 01	1	
②	グロメット	0040 1001 601	1	
③	COVER	3659 9388 001	1	フラップカバー
④	BOLT	H194 0106 016	4	フラップカバー取り付け
⑤	リレーアッシ	3572 0857 000	2	フラップ・排出クラッチモータリレー
⑥	リードセンT	3592 9412 500	1	クミハイセンT排出クラッチスイッチと接続
⑦	CONTROL UNIT A	3606 0991 001	1	運転席 リモコン
⑧	NUT	F300 0106 001	2	リレー取り付け

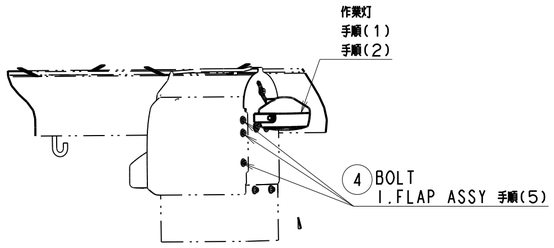


1. FLAP ASSY配索
（1）HARNESS Gのフラップモータ（2種）とフラップポテンショ（3種）のコネクタをすでに組付けられている
FLAP ASSYのモータ（2種）とポテンショ（3種）に接続します。
（2）前項で取り外したビニールシートをナット8ケで取り付けます。（1-3参照ください。）
（3）グロメットにHARNESS Gが通るように切り込みを入れ、スリーボンド7786相当品にて接着します。
（4）HARNESS Gが、グロメットを通るよう図示位置にCOVERを取り付けます。
（5）フラップカバーをボルト（4ケ）にて固定します。



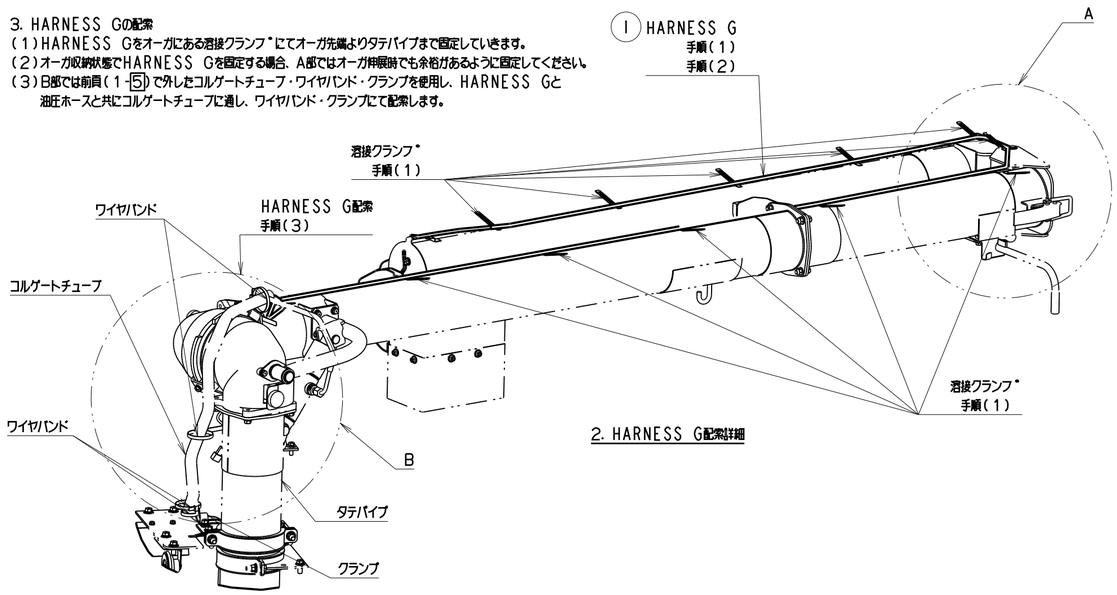
1. フラップハーネス取付詳細

2. 作業灯の取り付け
（1）作業灯をオーガ先端のボルト（1ケ）を外し取り付けます。
（2）HARNESS Gのギボシ端子と作業灯のギボシ端子を接続します。
（3）接続したギボシ端子はオーガ上部にセットします。



3. 作業灯取付詳細

3. HARNESS Gの配索
（1）HARNESS Gをオーガにある溶接クランプ*にてオーガ先端よりタテパイプまで固定していきます。
（2）オーガ収納状態でHARNESS Gを固定する場合、A部ではオーガ格納時でも余裕があるように固定してください。
（3）B部では前頁（1-5）で外したコルゲートチューブ・ワイヤバンド・クランプを使用し、HARNESS Gと
油圧ホースと共にコルゲートチューブに通し、ワイヤバンド・クランプにて配索します。

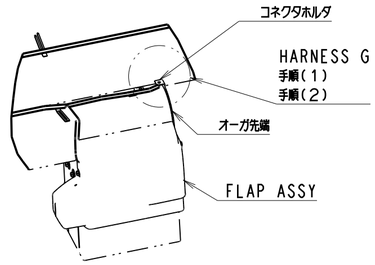


2. HARNESS G配索詳細

4. HARNESS Gとリレー取付
（1）グレンタンクを開きます。
（2）リレーアッシ（2ケ）をそれぞれNUTで取り付けます。
（3）コネクタ（クミハイセンBに白色テープで固定されている）をクミハイセンBから外し、リレーアッシと接続します。（2ヶ所）
（4）コネクタ（クミハイセンBに白色テープで固定されているコネクタ<4種>と<6種>）をクミハイセンBから外し、
HARNESS Gと接続します。
《注》4種コネクタに接続された防水コネクタは外した後、HARNESS Gの先端リモコン防水コネクタ
として使用します。（5.（1）を参照ください。）
また、クミハイセンGを外したクミハイセンB側のコネクタ（2種）もHARNESS Gと接続します。（作業灯用）


防水コネクタ（4種）

5. 先端リモコンコネクタ 防水コネクタの取付
（1）HARNESS G オーガ先端リモコンコネクタ（4種）に、クミハイセンBより外した防水コネクタを取り付けます。
（2）防水コネクタを、コネクタホルダへ取付けます。



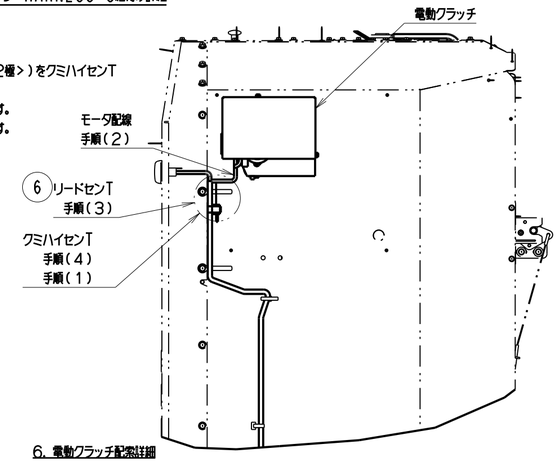
5. 先端リモコンのコネクタ 防水コネクタの組付け詳細

4. リレーアッシ・HARNESS G組付け詳細

6. 排出電動クラッチ配索
（1）コネクタ（クミハイセンTに白色テープで固定されている排出クラッチモータコネクタ<2種>）をクミハイセンT
から外し、前頁（3-1）で組付けれているモータ配線と接続します。
（3）クミハイセンTの排出クラッチスイッチのコネクタ（2種）にリードセンTを取り付けます。
（4）（3）排出クラッチスイッチのコネクタ（2種）を図のようにクランプ*を使い固定します。


⑥ リードセンT（2種）

注）リードセンTが取り付けされていないと、
エンジン始動が出来ません。

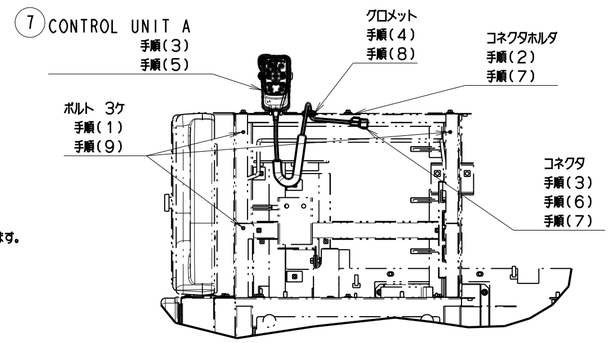


6. 電動クラッチ配索詳細

7. オーガリモコンの交換
（1）シート裏のプレートをボルト3ケ緩め、プレートを外します。
（2）カバー上部にあるコネクタホルダからCONTROL UNIT A（6ポ゛タン）のコネクタを外します。
（3）CONTROL UNIT A（6ポ゛タン）のコネクタとクミハイセンBを外します。
（4）カバーからグロメットを外します。
（5）取り外したCONTROL UNIT A（6ポ゛タン）を同梱されているCONTROL
UNIT A（9ポ゛タン）に交換します。
（6）コネクタを本機側のクミハイセンBに取り付けます。
（7）コネクタをコネクタホルダに固定します。
（8）グロメットにスリーボンド1782相当品を塗布しカバー上部に固定します。
（9）（1）で外したプレートをボルト3ケで取り付けます。

8. オーガフラップ付仕様選択 メモリバックアップ
（1）メモリバックアップAを起動します。
スタータスイッチ 《OFF》状態にて
・主変速レバー 《バック位置》
・CONTROL UNIT A 《右操作》（緑色スイッチ）を押した状態でスタータスイッチ《ON》にします。
ブザーが2回なりランプが巡回点滅します。
（2）ホーンスイッチ《押し》
ブザー断続音が鳴り続けます。
（3）マルチステアリングレバーの倒し角で仕様を選択します。
1）最右傾斜位置 ：オーガフラップ付仕様
2）中立位置 ：標準仕様（オーガフラップ無仕様）
（4）マルチステアリングレバーを （3） 1）位置で保持しながら、ホーンスイッチ《押し》ます。
ブザー断続音が2回鳴り（記憶完了）、ランプ巡回点滅に戻ります。
（5）スタータスイッチ《OFF》にします。

9. オーガフラップ開閉リミット メモリバックアップ
（1）メモリバックアップAを起動します。 8（1）を参照ください。
（2）CONTROL UNIT A フラップ《開》を一回押します。
こく粒排出ランプ点滅します。
（3）CONTROL UNIT A フラップ《開》を一回押します。
フラップポテンショ自動セット開始
・開側出力レメカリミット位置のポテンショ値を記憶。 ブザー単音がなります。
・閉側出力レメカリミット位置のポテンショ値を記憶。 ブザー単音がなります。
ブザー断続音が2回鳴り（記憶完了）、ランプ巡回点滅に戻ります。
（4）スタータスイッチ《OFF》にします。



7. オーガリモコン取付詳細

10. こく粒排出・フラップ動作確認
（1）CONTROL UNIT Aの各スイッチ操作にてオーガを上下左右できることを確認します。
（2）オーガをこく粒排出範囲まで移動させ、こく粒排出スイッチ操作で排出されることを確認します。
（この時にフラップが自動的に全開になることを確認します。）
また、排出時にフラップ開閉スイッチ操作にてフラップが開閉されることを確認します。
（3）排出時、排出クラッチワイヤテンションスプリングが規定量（102±2）になっている力確認します。
前頁（3-（2））を参照下さい。